

### 13. ASPM編集委員会報告

1. 次の巻が出版予定です. 40, 41巻はこの報告が数学通信に出る頃までにはお手元に届いていると思います. 42巻は夏休み前ごろになるかと思えます.

第40巻, 512ページ,  
題: Representation Theory of Algebraic  
Groups and Quantum Groups

編者: 庄司俊明, 川中宣明, 柏原正樹,  
筱田健一, G. Lusztig

出版部数 500部

定価 12180円(税込)

第41巻, 390ページ,

題: Stochastic Analysis and Related  
Topics in Kyoto

(副題: In honour of Kiyosi Itô)

編者: 国田寛, 渡辺信三, 高橋陽一郎

出版部数 550部

定価 10500円(税込)

第42巻, 360ページ,

題: Complex Analysis in Several  
Variables

-- Memorial Conference of Kiyoshi Oka's  
Centennial Birthday, Kyoto/Nara 2001

編者: 宮嶋公夫, 古島幹雄, 風間英明,  
児玉秋雄, 野口潤次郎, 大沢健夫,  
辻元, 上田哲生

出版部数 550部

定価 9660円(税込)

(AMS にはいずれの巻も 150 部引き受けて貰うことになりました. 現在の通常の出版部数は 500 部が標準ですが, 巻編者が纏めて購入していただける部数が非常に多い場合は, それよりも増やすこともあります.)

2. 新しい ASPM 編集委員として2004年7月より石井志保子, 小島定吉, 斎藤秀司の3名の方に加わっていただきます. また, 編集委員長は河野俊文さんに交代します. (いずれも6月の理事会で承認される予定です). ASPM 報告を私が書くのは最終回になるので, 個人的な感想を述べさせていた

だくことをお許し下さい. 前委員長の小田忠雄さんから編集委員長を引き継いだのが5年前で, この5年間は当初に予想したよりはるかに大変でした. 25巻から42巻の計18巻を出版出来ました. 出版についての数学的側面は問題はなかったと思えますし, 順調であったと思えます. しかし ASPM の出版を取り巻く状況が, 経済的状況, 数学会理事会の方針などから目まぐるしく変わり, それへの対応が非常に大変でした.

紀伊國屋書店に余裕がなく ASPM をあっさり手放したので, 日本数学会が自分で出版, 販売するようになりました. これは日本数学会にとって経済的には状況は良いほうに変化しましたが, 販売の責任および手間を日本数学会が背負い込んだという面もあります. 一方では, AMS が契約の見直しを突然言ってきたことなどがありました. これも問題は一応は解決していますが, 将来再燃する可能性はあります.

また, 数学会の理事会から経済的側面での厳しい要求をいろいろと受けたこともありました. これらのことも, 現在はやっと安定した状況になっていて, 経済的に ASPM が日本数学会のお荷物になっている状況は是正されていると思えます.

しかし, ASPM 用に使える科研費がある時は良いのですが, 無いときはいろいろの困難が生じます. 現在一応安定している状況で河野新編集委員長に引き継ぎをできることでほっとしています.

情報発信の媒体が紙から電子へ移っていくという流れはどんどん加速されると思われます. ASPM のようなハードカバーのがっしりした本の形での Symposium の Proceedings はだんだん出版が難しくなる可能性はあります. それでも, 質の高い本をこのような形で出版する文化が残ることを, 個人的には希望しております. この種の出版を継続するだけの財政的かつ精神的余裕を日本数学会が持ち続けることができることを強く希望します. 数学会会員の皆様の ASPM への支持を引き続きお願いしたいと思えます.

3. 現在，これから出版がきまっている ASPM の巻はいずれも 1 年に 1 つ行われる MSJ-IRI (日本数学会国際研究集会) に関するものだけになっています．したがって，新しい巻を出版する余裕がもう少しあると思われます．ASPM の巻にふさわしい出版計画をお持ちの方は是非 ASPM 委員 (のどなたにでも) に連絡，相談していただけたらと思います．

(ASPM 編集委員長 坂内英一記)